

令和7年度北中学校区小中一貫教育ランドデザイン

北中学校区小中一貫の教育目標

夢をもち 心豊かに輝く 北斗の若星

～すべては、子どもたちの笑顔のために～

名張市

北中学校区

〈めざす子ども像〉

互いに認め合う仲間と共に行動し、学ぶ喜びや有用感をもつことができる子どもの育成

北中学校：夢をもち、心豊かで、たくましい生徒の育成
～感謝・感動・つながり～

スムーズな接続

薦原小学校：持続可能な未来を拓く「ありがとう」の学校をつくる

美旗小学校：みんな仲良く はつらつとした たのしい学校

すずらん台小学校：なりたい自分の実現に向け、人間性豊かに、人とのつながりを大切にする児童の育成
～自分らしく、仲間とともに、かっこよく！～

【基本理念】

未来を担う子どもの夢を実現するために、北中学校区小中学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、一丸となって子どもの教育に向き合う。

【基本方針】

教職員の超過勤務等による健康上の問題が危惧される中、新しい事業を増やすことよりも、多様な主体の協働により教育効果を上げることが目指す。

そのためには、小中学校の教職員が中学校3年生の姿を実際に見て、課題を共有すること、明確な目標に向けてベクトルを合わせて取り組むことを大切にす。

また、一つひとつの行事や授業等の「ねらい」を明らかにし、「めあて」に対しての「振り返り」をし、PDCAサイクルを回していく

北中学校区児童生徒の実態と課題

- 一人ひとりは、素直な児童生徒であるが、違った価値観に出会ったときに、受け入れることや折り合いをつけることが難しい。
- 自己肯定感や自己有用感が低く、自信をもてない場面が多く見受けられる。
- 学習面では、与えられた課題には、真面目に向き合うことができているが、基礎基本の学力が定着していないため、粘り強くやりとげることができにくい。また、指示待ちの場面も多く見受けられ、主体的に学ぶ姿勢には富みが見られる。
- 生活や学習の規律面は整ってきいているが、より良く生活していくという意識が低い。
- 将来に葛藤をもち、今の自分を原点にした「なりたい自分」のイメージがもてていないため、今の楽しみに没頭してしまっている児童生徒もいる。
- 不登校児童生徒が一定数いる。

小中一貫教育運営委員会(校区校長会議)	校長
小中一貫教育推進委員会	管理職・小中一貫教育担当等
合同研修会(全員[5/7-8/20])	全教職員
各教科小中一貫カリキュラムの作成	

学

「分かる授業づくりと学習意欲の向上と健やかな体づくり」

絆

「豊かな人間関係と居場所づくり」

志

「生き方を学ぶ教育活動の充実」

特別部会

主体的・意欲的に取り組む児童生徒の育成		自分や友だちを大切にする児童生徒の育成		様々な活動や出会いを通してSDGsの考えを基に夢や希望を持って生活する児童生徒の育成		ICTを活用できる児童生徒の育成	いきいきと学習に取り組める環境の整備
学力向上	体力向上	人権・同和教育の推進	生徒指導の充実	キャリア教育の充実	特別支援教育	ICTの有効活用	学校事務
「学習形態を工夫した主体的な授業を目指して」 ①学びの基盤づくり ②共に学ぶ学習活動 ③家庭学習の充実、読書の習慣化	「継続した体力向上の取組」 ①体力テストの分析と活用 ②児童生徒の実態に応じた体力の向上	「自尊感情を高め、なかまとのつながりを大切にする子どもの育成」 ①自己や他者を大切にすると共に集まりの推進 ②人権教育カリキュラムの推進	「基本的な生活習慣の定着」 ①児童生徒のコミュニケーションのツールとしてのあいさつ習慣の定着 ②日常生活における基本的な生活習慣の定着	「心にひびく授業実践の推進」 ①各級の取組の充実 ②キャリア教育カリキュラムの検証と見直し	「将来の夢に向かっての特別支援」 ①中学卒業後の進路・就労を見据えての進路相談	「学びにつながるICT機器の活用と効果」 ①タブレットの有効的な活用方法について情報共有する ②定期的な情報発信・交流を行う。	「児童・生徒の学習環境の整備」 ①校区で連携した情報共有の環境整備にむけての安全点検 ③保護者、教職員への情報発信
【具体的な取組】 1.ベア学習やグループ学習を取り入れ、学び合いを充実させる取組。 2.「めあて」「ふり返り」の工夫・充実。 3.メディアコントロールデー(年4回)の取組。 4.読書活動の推進。	【具体的な取組】 1.小中9年間の体力テストのデータの蓄積と分析 2.柔軟性・体時間向上のための運動を各校で取り組む	【具体的な取組】 1.各校での人権研修の充実 2.北中学校区全体での夏季研修の充実 3.授業公開 4.つどい(小学校)とヒューマンライン(中学校)の取組 5.出会い学習講師の共有	【具体的な取組】 1.校区統一の「あいさつウィーク」を実施する。各校の実態に応じたあいさつができる子の育成のための実践 2.校則、学校のきまりに応じた生活習慣の確立のための実践。	【具体的な取組】 1.キャリア教育カリキュラムに基づくキャリア教育の実践。 2.キャリアパスポートを有効活用した授業実践。	【具体的な取組】 1.進路(高校・就労)を考えた長期・短期目標の設定。 2.各校の自立活動とICTの活用を取り組みの交流。 3.中学校の進路指導と進路指導の紹介。	【具体的な取組】 1.一人ひとりの教職員が使えるツールを増やし、スキルアップを図る。 2.ICTを用いた小中で一貫して行うことができる授業の実践。	【具体的な取組】 1.集金や就学援助等を中心に各校の現状や課題について情報共有する。 2.夏休み中に各校へ出向し、校舎内の安全点検を行う。 3.おたよりの作成(備品検査システムの使い方等)
【検証】 ・児童生徒アンケートで「国語・算数数学の内容がよくわかる」の項目について「あてはまる」が50%以上、「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」が85%以上になるようにする。(年2回)	【検証】 ・2学期に「長座体前屈」「上体起こし」を再計測し、変化を検証する。 ・各校の取組を交流する。	【検証】 ・各校の「人権教育推進計画」と「人権教育カリキュラム」の交流	【検証】 ・取組んだ資料等をロイノットで交流する。	【検証】 ・授業内容の交流 ・学校アンケート(キャリア教育にかかわる項目)の数値の変化の交流	【検証】 ・「子ども」をどう進路相談や支援で活用できたか。 ・学年末懇談で1年間を振り返り、成長を感じられたか。どのような意見や思いをもったか。満足できたか。	【検証】 ・教職員のICT活用についてのアンケートで取組方法やその効果を情報収集し、分析する。 ・授業を行った授業を実践に各校で取り組み、授業後フィードバックを行い、まとめる。	【検証】 ・学校間連携や学校訪問時に意見交換を行う。 ・教職員にアンケートを実施する。

学校評価アンケート(統一様式の活用、経年変化の還元)

評価方法	全国学力・学習状況調査 みえスタディ・チェック なびりスタディ・チャレンジ	体力・運動能力調査 みえ元気アップシート	いじめ調査 学校評価アンケート 学校満足度調査	学校評価アンケート 学校満足度調査	学校評価アンケート 学校満足度調査	学校評価アンケート 学校満足度調査	全国学力・学習状況調査 質問紙	教職員アンケート
北中	本間 光太郎 中川 幹子 森田 清紀	☆田中 利樹 山崎 桜	北 高島 裕美 西尾 俊花 秋本 光哉	北 森田 知徳 村手 光宗 額田 東樹 横田 重紀	北 土井 千佳 山田 梨帆 二井 恵	北 吉美 亮・山田利雄 東 竜也 仲 公子 福井 美千子 横山 暁子 松本 知奈美	☆中森 隆 江田 功治 角谷 楓一朗 吉留 諒吾	福西 真美
薦原小	高野 風人 藤田 善野 松田 美幸 田原 紀菜	藤 二井 ひかり 矢作 若菜	藤 井原 あずさ ☆吉村 悠子	☆伊藤 健二 堀内 麻美 安川 周良 高見 恵美子	藤 小橋 希穂 飯橋 裕生 立崎 彩香 飯橋 桂 なつみ	藤 山本 義行 高橋 優 大坂 彩香 松本 奈緒 桂 なつみ	藤 小笠 実樹 出口 達彦	藤 井上 亜佳 山下 麻衣子
美旗小	☆山崎 大 栗本 菜穂 上山 真衣 水本 崇代	田原 賢人 鈴木 亜門 山下 悠	堀内 愛美 山本 優子(すずらん谷小)	川北 実果 宮本 正寛(薦原小)	池村 美幸 西岡 俊光(すずらん谷小)	美 田中 真理子 阿部 明美 野田 蓮	美 田中 麻友 橋本 孝明 木下みさき	美 谷口 和也(美旗小) 学校事務共同実施 学校間連携業務
☆印 R7年度推進委員会	教育研究推進委員会	保健体育代表者会	学校人権・同和教育推進委員会 校区人権教育推進協議会	生徒指導推進委員会 校区学級委員会	キャリア教育担当者会	コーディネーター連絡会 もみしのつどい実行委員会	情報教育担当者会	

美旗まちづくり協議会
薦原地域づくり委員会
すずらん台まちづくり協議会
等 各団体

家庭
地域
行政
との連携・協働

コミュニティ・スクール
学校運営協議会

OCSの活性化
・学校運営協議会による授業参観
・地域ボランティアの活用
・児童生徒の地域貢献

